

想い合うってステキ!

ヤクルトと地域をつなぐコミュニケーションペーパー

おもやいっこ

「おもやい」は、「分かちあう」「想い合い」を表す東三河の方言。

みんなが少しずつお互いを想い合い、喜びや感動を分かちあえたらステキですね。

第5号

2015.8

のんほいフォーカス

「親だから伝えられることがあります」 発達障害を持つ子どもたちと親をサポート



NPO法人ゆう
副理事長
荻野ます美さん



▲豊川みなみセンター保育ルーム。東三河ヤクルトでは自社内に保育スペースを設け、働くお母さんを応援しています。



▲今年の3月と4月には東三河ヤクルト全社員を対象に自閉症の子どもを育てている母親たちのグループ「自閉症啓発キャラバン Swing」として講演。

今年の2月、弊社豊川みなみセンター保育ルームで、保育スタッフを対象に、発達の凸凹がある子どもたちについて学ぶセミナーがありました。そのときの講師が、NPO法人ゆうの荻野ます美さん。一人でも多くの方に自閉症について知ってもらおうと活動する彼女の原動力になっているのが自分自身の体験です。「息子が5歳まで過ごしたアメリカでは、息子にあった教育を受けることができましたが、帰国後は、相談先もわからない状況でした。その時の経験を生かし、どうしたらよいかわからない親御さんたちに、親として体験してきたことを伝えようと、11年前、同じ思いの人たちとNPO法人ゆうを立ち上げました。今、私が力を注いでいるのは、先生と親との間に生まれる理屈ではわりきれない間をつなぐためのお手伝い。東三河ヤクルトで行ったセミナーもそのひとつで、まずは、子どもたちと楽しく過ごすコツや工夫を知っていただこうと思いお話ししました」と荻野さん。「お母さんが元気でいられることが一番大事」と話す言葉に力をいただきました。

(豊川みなみセンター 鈴木衣代子)

